

# 忙しい人のための 公衆衛生

CONTENTS

はじめに

## 序章 公衆衛生が重要な理由

① John Snow の功績	10
② 公衆衛生局の英断	11
③ 医学と行政の連携	12
④ 新型コロナウイルス感染症の対策とその根拠	15
⑤ 公衆衛生と経済のつながり	18
⑥ 新型コロナ対策にみる公衆衛生と臨床のつながり	20
⑦ 全数 PCR 検査はなぜ行われないのか	21
⑧ 国としての健康のつくりかた	24

## 第1章 すべての国民の健康の定義や目標

① 「健康とは何か」	28
② 患者の生き方を重視する自己決定権	28
③ 健康の評価指標	30
④ 具体例：国民として望ましい食習慣	33
column 医師の責任	39

## 第2章 特に健康に気をつけるべき対象とその根拠法

① 健康に気をつけなくてはいけない人とは	42
② 根拠となる法律とは？	44
③ 法律にすべて書いてあるのか？	49
column 国家試験にも根拠はある？	55

## 第3章 それぞれの対象の健康をつくる活動

<b>1 高齢者保健</b>	58
① 高齢化問題とその対策	58
② 高齢者の医療制度	60
③ 介護保険制度	61
④ 老人福祉法に規定されている施設	65
⑤ 高齢者虐待の防止	66
<b>2 母子保健</b>	71
① 母体保護	71
② 母子保健	72
③ 児童福祉	75
<b>3 障がい者支援</b>	78
① ノーマライゼーションとバリアフリー	78
② 障がい者支援	79
③ 障がい者虐待の防止	80
<b>4 学校保健</b>	83
① 教育に関連する法律	83
② 学校における保健管理	84
③ 学校保健の管理体制	86
④ 学校医	86
⑤ 給食	87
⑥ その他の法律にもとづいた活動	88
<b>5 成人保健</b>	90
① 生活習慣病などの慢性疾患	90
② がんとそのリスク要因	91
③ 特定健康診査・特定保健指導	92
<b>6 産業保健</b>	94
① 産業保健の歴史	94

② 会社に課された義務	96
③ 労働衛生管理の手法	98
<b>column 母子保健にかかわる統計</b>	105

## 第4章 すべての国民を対象とした健康を守るための活動

<b>1 環境衛生</b>	108
① 水質基準	108
② 空気の基準	109
③ 公害対策	110
<b>2 感染症</b>	114
① 感染症との戦いの歴史	114
② 大規模感染の予防法	115
③ 医師の届出義務	116
④ 予防接種	116
⑤ 検疫	117
<b>3 食品保健</b>	121
① 食品保健の対象とは	121
② 食品の安全にかかわる分野	122
③ 食品に起因する危害	124
<b>column 人権を制限すること</b>	127

## 第5章 ~衛生統計~過去・現在・未来を評価する

<b>1 衛生統計とは</b>	130
① 過去から続いてきた結果としての現在	130
② 現在の状況から未来を予想する	131
<b>2 人口静態統計</b>	132
① 人口静態統計の読み方と活用	133

② 世界からみた日本の人口静態統計学的特徴	134
<b>3 人口動態統計</b>	137
① 出生がわかるとみえるもの	137
② 死亡がわかるとみえるもの	140
<b>4 その他の調査</b>	148
<b>column 国勢調査はなぜ必要？</b>	151

## 第6章 公衆衛生の研究手法

① 研究とは何か	154
② システマティックレビューとメタ解析	161
③ 統計学	164
④ なぜ統計を勉強しなくてはならないのか	165
⑤ 臨床における統計学の重要性	165
⑥ 感度と特異度	166
⑦ 検査前確率と検査後確率	168
⑧ 両立しない感度と特異度	174
⑨ 陽性反応的中度と陰性反応的中度	177
⑩ 前向き研究における統計：リスク、リスク比	179
⑪ 後ろ向き研究における統計：オッズ、オッズ比	184
⑫ 似た概念である尤度比	190
⑬ 尤度比の使い方	192
⑭ その他の重要となる統計用語：率と割合	195
おわりに	198
索引	202